
2. 発表論文等

第2章に掲載した論文等は各団体から転載の許可を得て掲載しております。

なお、著作権は各団体に帰属するため、転載を禁じます。

2.1 論文・技術報告等

1) 栃木県真岡市の切土のり面における駆除処理 2 年後のイタチハギの再生状況	69
2) 地上型レーザースキャナを用いた樹木の形状及び体積計測の試み	74
3) 歴史的風致維持向上計画にみる歴史まちづくりの現状と土木史研究に期待される役割	78
4) 礫河原におけるオオキンケイギク埋土種子の表土はぎとりによる除去効果	93
5) オオキンケイギクが侵入した河川敷における表土はぎとりによる 礫河原植生の再生効果	97

2.2 学会・シンポジウム要旨

6) 公共事業の景観創出が地域のまちづくりに及ぼす効果に関する研究	105
7) 公共事業における景観整備効果の経済評価手法に関する一考察	115
8) 歴史的風致維持向上計画の進行管理・評価システムの構築に関する報告	121
9) 斜里エコロードにおける GPS 首輪を利用したエゾシカのモニタリング	131
10) Road ecology in Japan –mitigation for wildlife–	139

2.3 雑誌・特集記事等

11) ゴルフ場の生物多様性保全に向けて	143
12) 樹木の可視化技術の現状	146
13) 地域生態系保全のための緑化技術の開発	150
14) 奥多摩橋 ―住民の想いがつないだ橋―	156
15) 生物多様性とのり面緑化 ―外来種を用いないのり面緑化手法の確立―	158
16) 豊かでうるおいのある道路空間をめざして ～道路緑化技術基準の変遷～	162
17) 緑化のり面におけるイタチハギの駆除処理と再生	166
18) 施肥量の違いが埋土種子の発芽および初期成長に及ぼす影響	169

2.4 出典

2.1 ～ 2.3 に掲載した文献の出典は以下のとおりである。（掲載順に列挙）

2.1 論文・技術報告等

- 1) 久保満佐子・柏木亨・松江正彦（2011）栃木県真岡市の切土のり面における駆除処理2年後のイタチハギの再生状況，日本緑化工学会誌，36（4）：490-494.
- 2) 山岸裕・松江正彦（2011）地上型レーザースキャナを用いた樹木の形状及び体積計測の試み，日本緑化工学会誌，37（1）：241-244
- 3) 阿部貴弘・北河大次郎・脇坂隆一（2011）歴史的風致維持向上計画にみる歴史まちづくりの現状と土木史研究に期待される役割，土木学会論文集 D2（土木史），67（1）：49-63.
- 4) 小栗ひとみ・畠瀬頼子・松江正彦（2012）礫河原におけるオオキンケイギク埋土種子の表土はぎとりによる除去効果，ランドスケープ研究，75（5）：441-444.
- 5) 畠瀬頼子・小栗ひとみ・松江正彦（2012）オオキンケイギクが侵入した河川敷における表土はぎとりによる礫河原植生の再生効果，ランドスケープ研究，75（5）：445-450.

2.2 学会・シンポジウム要旨

- 6) 阿部貴弘・松江正彦・福島秀哉（2011）公共事業の景観創出が地域のまちづくりに及ぼす効果に関する研究，景観・デザイン研究講演集，7：191-200.
- 7) 福島秀哉・松田泰明・阿部貴弘（2011）公共事業における景観整備効果の経済評価手法に関する一考察，景観・デザイン研究講演集，7：201-206.
- 8) 阿部貴弘・脇坂隆一（2011）歴史的風致維持向上計画の進行管理・評価システムの構築に関する報告，景観・デザイン研究講演集，7：230-239.
- 9) 園田陽一・松江正彦（2012）斜里エコロードにおける GPS 首輪を利用したエゾシカのモニタリング，「野生生物と交通」研究発表会講演論文集，11：79-86.
- 10) Sonoda, Y.・Matsue, M.（2012）Road ecology in Japan —mitigation for wildlife—, The 5th East Asian Federation of Ecological Societies International Congress, Proceedings, P1-269A.

2.3 雑誌・特集記事等

- 11) 園田陽一 (2011) ゴルフ場の生物多様性保全に向けて, ランドスケープ研究, 75 (1) : 48-50.
- 12) 飯塚康雄 (2011) 樹木の可視化技術の現状, グリーン・エージ, 448 : 36-39.
- 13) 松江正彦 (2011) 地域生態系保全のための緑化技術の開発, 日本緑化工学会誌, 36 (4) : 456-461.
- 14) 阿部貴弘 (2011) 奥多摩橋 —住民の想いがつないだ橋—, 土木学会誌, 96 (8) : 38-39.
- 15) 松江正彦 (2011) 生物多様性とのかげり面緑化 —外来種を用いないのかげり面緑化手法の確立—, ベース設計資料, 150 : 49-52.
- 16) 松江正彦 (2011) 豊かであるおいのある道路空間をめざして ～道路緑化技術基準の変遷～, 道路, 848 : 62-65.
- 17) 久保満佐子 (2012) 緑化のかげり面におけるイタチハギの駆除処理と再生, 日本緑化工学会誌, 37 (3) : 386-388.
- 18) 久保満佐子・松江正彦 (2012) 施肥量の違いが埋土種子の発芽および初期成長に及ぼす影響, 日本緑化工学会誌, 37 (3) : 429-432.